

上池 No.1【水確保】雨水の利用（Ⅰ期）

上池の水量確保のため雨水を集水する

○前提

- ・ 空港施設及び高水敷牧草地を集水域とし、現況の高水敷の排水勾配を考慮して雨水を集水する。
- ・ 道路機能を保持する。

○整備内容（配慮事項）

- ・ 本川河岸に沿って素掘りの雨水集水路を設置する。水路床は石敷きとするなど植生の繁茂を抑制する工夫を施す。
- ・ 河岸沿いの水路は最小でも50cmの深さを確保し、現況地盤の縦断勾配と同程度の約1:1,000の勾配とする。高水敷を横断する方向に布設する水路はレベルとする。
- ・ 集水した水は現況の旧モトクロス場（用地取得中）を經由して放流する。
- ・ 水路床には適当な間隔で凹みを設け、降雨が少ない場合でも水たまり状の環境が形成されるようにする。
- ・ 集水路流末付近の道路横過部には部分的にコンクリート二次製品を使用する（C付近）。
- ・ 水路の機能を維持するため、定期的に除草等の管理が必要となる。

